



ジオだより



三陸ジオパーク推進協議会

《さんりくジオタウン@釜石》を開催しました



クイズラリーのゴールで抽選会



家族連れが多いメインスペース



ハーバリウムの作品づくり体験も



釜石高校生による虎舞体験会

2月22日(日)23日(月・祝)の二日間にわたり、イオンタウン釜石にて三陸ジオパークイベント「さんりくジオタウン@釜石」開催しました。

冬の時期に屋内で三陸ジオパークを見て、触れて、参加して楽しめる企画として、各市町村の出展ブースを中心に地域の特産品販売や体験メニューを用意したほか、各ブースに問題を設置したジオクイズに6個挑戦するとクーポン券のプレゼント、12個でコンプリートすると抽選会に参加できるというユニークなイベント内容で、イオンタウン釜石では家族連れを中心にたくさんの方々が来場して賑わいました。

ジオクイズはバラエティに富んでいて、難しかったという人もいましたが、知らなかった地域のことを知って勉強になったという感想もあり、大人も子供も楽しんでいただいていた様子がかえりました。

イベントに先行して2月14日から開催していた「かわらばん作品展」も回を重ねて5年目となりました。子供たちの描く地域の魅力が作品を通して伝わる企画なので、引き続き取り組んでいきたいと思っております。

《高校生の地域ゼミ活動で郷土芸能》

三陸ジオパークのエリアの市町村には、とても多くの郷土芸能がありますが、震災や少子化の影響はその後継者不足にも及んでいるそうです。幼少期から当たり前のように郷土芸能をやってきた高校生のみなさんが、郷土芸能の各団体の枠組みによらず協力し、地域の文化を継承していく活動の一つとして虎舞を披露しました。



200点以上の作品展示



ご当地キャラクターは大人気



3階の吹き抜け通路は、市町村の出展コーナー

《三陸椿物語》

出典： [三陸椿物語 - バンザイファクトリー](#)

2011年3月11日、東日本大震災により三陸沿岸に大津波が発生しました。多くの樹木が倒れたり塩害で枯れる中で、椿が沢山生き残っていました。

椿は根を最も地中深くに伸ばす性質が故に他の樹木の数倍、十数倍もの年数をかけて成長するので、他の木々に追い越されてしまい、陰に隠れてしまうのでした。しかし、一旦根を深く張った椿は、災害に最も強い木に育ちます。大津波により根を深く張り、強くなった椿が姿を現しました。その姿はとても強く、誇らしいものでした。

椿のように、じっくりと時をかけて「人生の根」を深く張っていく、周りに追い越されようが、負けようが自分のペースで努力を続ける。やがて誰にでも訪れる「人生の荒波」に負けず、自分らしい「花」を咲かせ、三陸椿のように「誇り」を持って生きていきたいと思いました。

椿の原産国は日本。椿は日本から世界に広まりましたが、国内最高齢である1,000年を超える樹齢の椿が二本あり、一つは京都府与謝野町滝で生きる樹齢1,000年「滝の千年椿」です。雷に打たれても生きている強い生命力です。そしてもう一つが岩手県大船渡市末崎町の熊野神社境内に生きる樹齢1,400年の「三面椿」です。過去1,000年の間に津波により、何度か海に沈んだと考えられていますが、それでも生きている強大な生命力です。 椿の花言葉：「控えめな優しさ」「誇り」「謙虚な美德」

日本遺産「みちのくGOLD浪漫」 ～黄金の国ジパング、産金のはじまりの地をたどる～



みなさんは「日本遺産」を御存知でしょうか？

日本遺産とは、「地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリー」を文化庁が認定する制度で、地域の歴史や文化財などの魅力を発信し、ちいきの活性化を目指す取組です。現在、全国で104のストーリーが認定されていますが、そのうちの1つが、今回紹介する『みちのくGOLD浪漫』です。



玉山金山跡（陸前高田市）

産金量も多く繁栄を極めた史実と伝説に彩られた気仙地方の代表的金山。金を掘った抗の跡や、そこで働いていた人たちの住んでいた跡などを見学できる。

日本で初めて“金”が産出された奈良時代の陸奥の国（現在の岩手県や宮城県を含む地域）。東大寺の大仏や平泉・中尊寺の金色堂にも使われたとされているこの地の“金”は、時代の流れとともに独自の文化や信仰、そして産業へと昇華していきました。『みちのくGOLD浪漫』では、“金”と人々との縁を“みちのくGOLD”と名付け、日々の生活や風土に息づく“みちのくGOLD”を掘り起こす取組を行っています。

現在、岩手・宮城両県の7市町が連携してストーリーを展開していますが、その中には、三陸ジオパークの構成自治体である大船渡市、陸前高田市、気仙沼市が含まれており、三陸ジオパークのジオサイトも日本遺産の構成文化財として登録されています。（氷上山、碁石海岸、玉山金山跡、鹿折金山跡など）

三陸ジオパークとも関係が深い日本遺産『みちのくGOLD浪漫』豊かな地下資源の一つでもある「金」にまつわる地域の歴史をジオで辿ると、その当時の出来事や時代背景がとてもよく解ります。

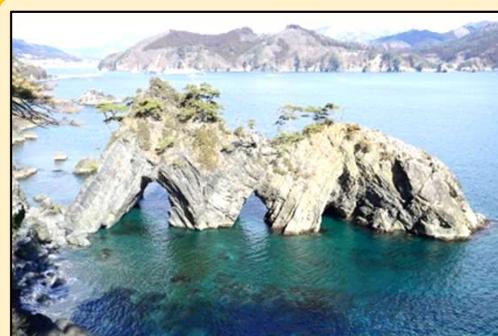
みちのく潮風トレイル応援自動販売機 新登場!!

大船渡市・碁石海岸の穴通磯公衆トイレ前に、素敵なイラストでラッピングされた『みちのく潮風トレイル応援自動販売機』が設置されました！

その名のおり、売上の一部はみちのく潮風トレイルの管理・運営を行っている認定NPO法人みちのくトレイルクラブに寄付され、活動・運営に役立てられます。自然歩道の部分も多いトレイルのルートなので、今後は整備活動にも力を入れていくとのこと。現地での作業に参加者募集も増えていきますので、皆様のご協力をお願いいたします。



ポスターと同じデザインが目を引きます



碁石海岸・穴通磯（大船渡市）

大船渡市を代表する景勝地であり、国の「名勝及び天然記念物」や国立公園にも指定される碁石海岸。

中でも穴通磯は、西側に急傾斜した大船渡層群飛定地層からなり、3つの穴が開いている碁石海岸を代表する奇岩。

編集後記：「震災から15年という節目の年」という言葉が良く聞かれますが、三陸では毎年その日その発生時刻に各地でサイレンが鳴り、黙とうする姿が多く見られます。その当時は幼稚園児だったわが子も今や大学生になるという今春、私にとっても大きな節目を迎えています。

「震災を機に変わったこと」はきっとそれぞれにあると思いますが、その時の縁で三陸に来ることになった方も多くいらっしゃると思います。震災のことがきっかけで様々な活動や人の縁も今に繋がってきたのかもしれないと、そんなことを思うことが多々あります。読者の皆様はいかがですか？ ～と～

三陸ジオパーク推進協議会

〒027-0072

岩手県宮古市五月町1-20

(宮古地区合同庁舎2階)

TEL:0193-64-1230

FAX:0193-64-1234

info@sanriku-geo.com

https://sanriku-geo.com/

Facebookはこちら

